



KBF 関甲新学生野球
2023 春季リーグ戦

山梨学院大学戦
5-2

2勝 7敗

勝率 .222

8位

1部
残留

リーグ戦
閉幕

写真 7回、2点目を刻んだ大隈（3年）

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
山学大	1	0	0	1	1	0	2	0	0	5	10	1
常磐大	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	7	2

関甲新学生野球 1部・春季リーグ戦最終節。常磐大学は、山梨学院大学との一戦に臨み、5-2の敗戦となった。常磐大学は、最終戦を終え、2勝7敗、勝率.222でリーグ8位。辛くも1部リーグ残留となった。

【5/20 山梨学院川田球場】1回表、常磐大学の先発投手は1年ぶりの勝利投手を狙う荒木嶺臣（現社3）。しかし、いきなり20秒ルールを取られてしまい、混乱。2番を四球で歩かせ、3番に単打で出塁を許し、1死1,3塁。相手4番の大学日本代表選手・宮崎の適時打で1点を失う立ち上がりとなった。荒木は立ち上がりが入部当初からの課題となっている。

4回表、遊撃手大隈聖蓮（現社3）の失策で無死1塁。その後、

四球と安打で2死1,2塁の場面で、相手1番海辺にライト前適時打を浴び2点目を失う。なんとか最小失点に切り抜ける粘りの投球を見せ、仲間の援護を待つ。

しかし、常磐大学の攻撃は、相手投手の投球に、5回まで無安打に抑えられてしまう。

常磐大学の反撃は、5-0で迎えた7回裏。先頭稲葉悠太（現社2）が安打、3番小関貴太（現社3）の2塁打で無死2,3塁のこの日初めてのチャンスを作る。続く4番は、今シーズン打率4割を超えている所宜和（現社3）。4番の仕事を果たす適時打で1点を返し、6番大隈もショート内野安打の間に2点目を追加。その後、長瀬祥太（現社3）のライト前安打で繋ぐも、後続が続かず、2点に止まった。

その後の8,9回は両チーム共に、得点に至らず、5-2で試合終了となった。

今季最終戦を白星で終えることは出来ず、春のリーグ戦の幕を閉じた。

バッテリーは、荒木-飯塚大翔（現社3）、荒木、飯田陽介（現社1）、遠藤優太（現社4）-長瀬（5回）。

（文・小関貴太）

星取表（2023年5月21日現在）

	上武	白鷲	山梨学院	平成国際	松本	新潟医福	関東学園	新潟	作新学院	常磐	試合	勝	負	勝率
2 上武大		★	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	9	8	1	.889
1 白鷲大	☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	9	9	0	1.000
6 山梨学院大	★	★		★	★	★	☆	☆	☆	☆	9	4	5	.444
6 平成国際大	★	★	☆		★	★	★	☆	☆	☆	9	4	5	.444
3 松本大	★	★	☆	☆		☆	★	☆	☆	☆	9	6	3	.667
3 新潟医福大	★	★	☆	☆	★		☆	☆	☆	☆	9	6	3	.667
5 関東学院大	★	★	★	☆	☆	★		☆	☆	☆	9	5	4	.556
10 新潟大	★	★	★	★	★	★	★		★	★	9	9	0	.000
9 作新学院大	★	★	★	★	★	★	★	☆		★	9	1	8	.111
8 常磐大	★	★	★	★	★	★	★	☆	☆		9	2	7	.222